

## 熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(生命科学研究部(薬学系) )

<b>目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。</b>
薬学部の男女比は例年約1:1で、男女とも就職率はほぼ100%であるため、現状においてもキャリア形成の意識は十分高いと考えられる。創薬・生命薬科学科(4年制)の学生は男女ともほぼ100%が大学院博士前期課程に進学しているので、教育の機会均等は既に達成されているといえる。一方、今年度に博士学位を取得(見込みを含む)する学生19名のうち女性は7名である。昨年(16名中7名)に比べて女性比率は低いが、毎年一定数の女性が博士号を取得している。
<b>目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。</b>
薬学部では3年生の5月に研究室配属を行っている。研究室ごとに男女の定員は設けていないので、既に男女平等な教育・研究環境であるといえる。
<b>目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。</b>
女子学生も卒業後は全員が、企業や病院、薬局あるいは行政関係に就職し、社会に貢献している。
<b>目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。</b>
令和3年7月、特任助教として女性教員を1名採用した。そして、令和4年1月から、令和3年度研究補助者雇用事業により研究補助者を1名雇用している。今年度は、コロナ禍のため実現しなかったが、積極的に女性研究者の講演会を開催する機会を設けている。教員公募の際には、女性を積極的に雇用する旨を公募要領に記載している。セクシャル・ハラスメント相談員のリストを掲示板に示し、各種ハラスメントに関する相談に対応しやすいようにしている。
<b>その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。</b>
特になし。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。